

事後評価結果（平成19年度）

担当課：京都府道路計画室
担当室長名：山本 崇裕

事業名	都市計画道路 <small>しんはまつばらせん</small> 新浜松原線(第1工区)	事業区分	街路				
起終点	自：京都府 <small>みやづしほんまち</small> 宮津市字本町 至：京都府 <small>みやづしたきば</small> 宮津市字滝馬	事業主体	京都府				
事業概要	都市計画道路新浜松原線は、国道176号を起点として宮津市の中心市街地を南北に貫き、京都縦貫自動車道・宮津天橋立ICに至る約2.1kmの都市計画道路であり、インターアクセス道路及び府北部を連絡する幹線道路でもある。本事業は、そのうち約0.9kmの2車線道路を現道拡幅により整備したものである。						
事業の目的・必要性	新浜松原線は、観光と商業の拠点として発達した宮津市の良好な市街地の形成を図るとともに、増加する自動車交通へ対応するため交通機能の向上、都市空間の形成を目的に整備した。						
事業概要図							
事業の効果等	事業期間	事業化年度：平成2年度 都市計画決定：昭和33年度	用地着手：平成3年度 工事着手：平成4年度	供用年：(当初) H8/H8 (実績) H15/H15	変動	2.0倍	
	事業費	計画時 暫定/完成	(名目値) 47/47億円 (実質値) / 億円	実績 暫定/完成	(名目値) 67/67億円 (実質値) 97/97億円	変動	1.4倍
	交通量 (当該路線)	計画時 暫定/完成	(H22計画交通量) 7,400/7,400台/日	実績 暫定/完成	(H17セナ入) 7,180台/日 (H42計画交通量) 4,600/4,600台/日	変動	97%
	旅行速度向上 (供用前現道 当該路線)	(供用直前年次) 年度	km/h	(供用後年次) 年度	交通事故減少 (供用前現道 供用後現道)	(供用直前年次) 年度	件/億台×日 (供用後年次) 年度
費用対効果分析結果 (当初)	B/C	-	総費用： - 億円 事業費： 億円 維持管理費： 億円	総便益： - 億円 走行時間短縮便益： 億円 走行経費減少便益： 億円 交通事故減少便益： 億円	基準年	- 年	
費用対効果分析結果 (事後)	B/C	1.1	総費用： 9.7億円 事業費： 9.6億円 維持管理費： 0.89億円	総便益： 10.4億円 走行時間短縮便益： 9.5億円 走行経費減少便益： 6.2億円 交通事故減少便益： 2.6億円	基準年	平成19年	
事業遅延によるコスト増		費用増加額	2.2億円	便益減少額		2.0億円	
事業遅延の理由	平成2年度に事業着手し、隣接で実施された土地区画整理事業との計画調整、多くの地権者が区内に代替地を希望されたことによる用地取得交渉の難航、安全かつ良好な都市景観を確保するため実施した電線類地中化に伴う関係者調整により、7年間の事業延伸を要した。						

	<p>客観的評価指標に対応する事後評価項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保（バス路線の利便性向上：市街地内のバス便数（10便 57便）） ・都市の再生（沿道まちづくりと連携：中町通地区土地区画整理事業(1.4ha)） ・安全な生活環境の確保（歩道幅員：なし 3.5m(両側)) <p>他6項目に該当</p> <p>その他評価すべきと判断した項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新浜松原線の供用に伴い、宮津市街地の南北軸となるシンボルロードが形成され、リニューアルされた街並みにより、人・車の流れが活発になった。
事業による環境変化	<p>環境影響評価に対応する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車道に高機能舗装を使用し、市街地内の騒音を抑制することで、地域の生活環境の保全を行った。 <p>その他評価すべきと判断した項目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電線類の地中化や、住民の意見を取り入れた歩道舗装、路上施設等のデザインを決定し、地域の個性ある文化環境の形成・保全を行った。
事業を巡る社会経済情勢等の変化	<p>平成6年に鳥取豊岡宮津自動車道（宮津野田川道路）の事業化が決定し、宮津天橋立ICが端末ICから中間ICとなった。これを受け本事業地の交通量が減少することとなった。</p>
今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性	<p>特になし</p>
計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性	<p>特になし</p>
特記事項	

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。